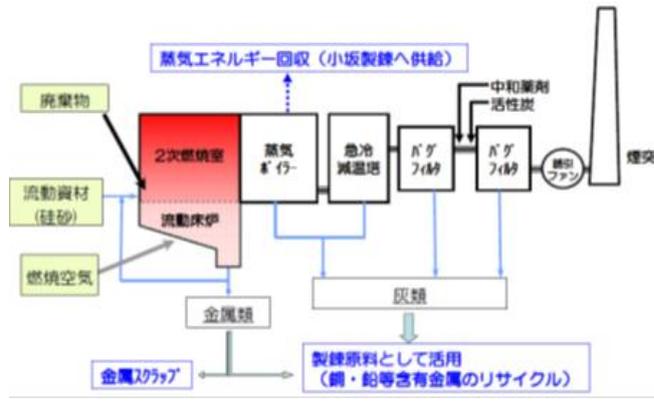


4.3 エコシステム小坂株式会社

4.3.1 事業者情報

名 称	エコシステム小坂株式会社			
本社住所	〒017-0202	秋田県鹿角郡小坂町小坂鉦山字尾樽部 60 番地 1		
資本金、出資金	50,000 千円			
従業員数	25 人			
設立年月日	平成 14 年 5 月（当時は小坂製錬、平成 18 年 10 月に分社化）			
URL				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・シュレッダーダストの焼却処理を通じて、サーマルリサイクルと金属リサイクルを行っています。 ・小坂製錬を始めとする DOWA グループの環境・リサイクルネットワークを活用することにより、廃棄物に含まれる金属のマテリアルリサイクルが可能です。 			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	KSR 課		
	担当者名	湯本 徹也		
	連絡先	電話番号	0186-29-2962	
		FAX	0186-29-2772	
E メールアドレス		yumotot@dowa.co.jp		

4.3.2 技術情報

キーワード	シュレッダーダスト、焼却、リサイクル			
技術名称	焼却技術			
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却			
目的・用途	廃熱ボイラで回収される蒸気は、隣接する小坂製錬のプロセスおよび発電タービンに供給しています。			
特長	焼却産物からの金属スクラップの選別回収や、ばいじんの製錬処理によって、廃棄物に含まれる金属のマテリアルリサイクルが可能です。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図	 <p>The diagram illustrates the waste-to-energy process. It starts with '廃棄物' (waste) entering a '2次燃焼室' (secondary combustion chamber) along with '流動資材(珪砂)' (fluid bed material, silica sand) and '燃焼空気' (combustion air). The chamber is a '流動床炉' (fluid bed furnace). '蒸気ボイラー' (steam boiler) is connected to the chamber, with '蒸気エネルギー回収(小坂製錬へ供給)' (steam energy recovery for supply to Kobayashi Refining) indicated. The process continues through '急冷減温塔' (quenching tower), 'ダストサイクロン' (dust cyclone), and another 'ダストサイクロン' (dust cyclone) with '中和薬剤' (neutralizing agent) and '活性炭' (activated carbon). The final output is '煙突' (chimney). '金属類' (metals) are recovered from the process, leading to '金属スクラップ' (metal scrap) and '製錬原料として活用(銅・鉛等含有金属のリサイクル)' (reuse as smelting raw material (recycling of metals containing copper, lead, etc.)).</p>			
廃棄物の種類	一廃・産廃	廃プラスチック類 (PET除く)	受入条件、形状	自動車破碎残渣を含む 破碎済みであること 粗大な金属塊のないこと
	一廃・産廃	動物性残さ	受入条件、形状	RDF 破碎済みであること 粗大な金属塊のないこと
供給資源・製品	蒸気		形状	
	鉄スクラップ		形状	5~100mm
	非鉄ミックスメタル(銅、アルミ、ステンレス)		形状	5~100mm

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	サーマルリサイクル、マテリアルリサイクルが可能であり、排出者は CSR を向上することが出来ます。 同型の焼却炉を 2 系列保有しており、1 炉ずつ設備メンテナンスを行うため、1 年を通じて安定的に廃棄物の受入が可能です。
----------	---------------	-------------------------	--

4.3.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	廃プラスチック類(自動車破砕残渣含む)	47	52	千トン
受入可能量	廃プラスチック類(自動車破砕残渣含む)	-	52	千トン
販売実績量の推移	蒸気	115	100	千トン
	金属スクラップ	4	4	千トン
主な調達先	主に自動車破砕業者、建設廃棄物処理業者			
主な供給先	小坂製錬、金属スクラップ業者			
設備投資の実績(過去 5 年間)	(H23) 金属選別機の導入により、金属種ごとの選別回収が可能となり、売却単価の向上につながった			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	【秋田県】 環境産業研究開発費補助金(リサイクル産業推進枠)(H23) 環境産業研究開発費補助金(3R 推進枠)(H24)			

5.1 協同組合マリンテック釜石

5.1.1 事業者情報

名 称	協同組合マリンテック釜石			
本社住所	〒026-0001	岩手県釜石市平田 3-75-5		
資本金、出資金	30,000 千円			
従業員数	4 人			
設立年月日	平成 5 年 7 月 23 日			
URL	http://			
事業概要	水産未利用資源からバイオ技術により機能性成分の抽出			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	営業部		
	担当者名	藤原三十郎		
	連絡先	電話番号	0193-55-5100	
		FAX	0193-55-5103	
E メールアドレス		fuji@mtc-marine.co.jp		

5.1.2 技術情報

キーワード	水産、バイオ、機能性		
技術名称	機能性成分抽出		
技術の分類	その他(水産未利用部の利用)		
目的・用途	食品及び健康食品		
特長	主に酵素を使用した基質の分解を行い、多岐にわたる方法で分離し目的物を抽出し濃縮までを行う		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図	<p>生産物: サケ由来コンドロイチン硫酸</p> <p>原料⇒微細⇒酵素分解⇒粗ろ過(150メッシュ程度)⇒精密ろ過(3μ程度)⇒超精密ろ過(分子量サイズ)⇒脱臭・脱色(活性炭および鉱物による)⇒濃縮⇒粉化⇒分級⇒充填(製品化)</p>		
廃棄物の種類	一廃・産廃	水産物系残渣	受入条件、形状 腐敗が無いこと、異物の混入が無いこと
供給資源・製品	コンドロイチン硫酸等		形状 粉末、濃縮液
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	産廃として処理していた水産廃棄物を原料として販売できる
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	原料を比較的近隣より集めることのコスト軽減、三陸産の原料を使用することでブランド化が図れる

5.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	鮭頭部	150	0	トン
受入可能量	鮭頭部	-	0	トン
販売実績量の推移	コンドロイチン硫酸	3	0	トン
主な調達先	水産加工業			
主な供給先	健康食品メーカー等			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	震災後、被災した機械設備を自己資金で修繕(5000 万)			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	農林水産省 「地域資源を活用した省エネ・省コスト・高付加価値型の水産業・水産加工業の実用化・実証研究委託事業」			

7.3 富津市水産加工業協同組合

7.3.1 事業者情報

名 称	富津市水産加工業協同組合			
本社住所	〒293-0011	千葉県富津市新富 93 番 7		
資本金、出資金	87,620 千円			
従業員数	3 人			
設立年月日	平成 3 年 2 月 1 日			
URL				
事業概要	<p>当組合は富津市の水産加工業者たちにより、加工品の原料となる原貝を安定的に供給すること、製造工程で排出される残渣を効率的に処理すること、組合員の生活および営業に寄与する様ざまな活動を行うことを目的に設立されました。加工過程で排出される貝殻残渣の処理は社会的意義のある重要な役割であり、以前は廃棄物として埋め立て処理されていた貝殻残渣を工業用石灰の代用品及び農業用肥料の原料とするリサイクル事業により社会に貢献することが可能になるとともに加工業者の処理費用を大幅に軽減し地域経済の活性化に寄与しております。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	事務局		
	担当者名	岩本 哲		
	連絡先	電話番号	0439-87-8522	
		FAX	0439-87-8529	
E メールアドレス		futtukakokyo@aq.wakwak.com		

7.3.2 技術情報

キーワード	貝 貝殻 破碎 石灰 肥料 農業 暗渠			
技術名称	貝殻破碎			
技術の分類	破碎			
目的・用途	水産加工品の製造過程で排出される貝殻を破碎し工業用石灰の代用品、農業用肥料の原料製造を行います。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	動物性残さ	受入条件、形状	むき身後の貝殻
供給資源・製品	製鉄用石灰の代用品。		形状	一定の粒度に破碎された貝殻。
	農業用肥料製造の原料。		形状	一定の粒度に破碎された貝殻。
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	貝殻残渣は産業廃棄物として処理した場合と比較して、当組合で処理した場合にkgあたり15円ほど安価に処分することができる。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	当組合では貝殻残渣の処理に係る費用を受入側より徴収しており、破碎後の製品に関しては安価で供給しています。また、旧来の埋め立てによる処理のように廃棄場所の確保等の問題は存在しない状況です。	

7.3.3 実績情報

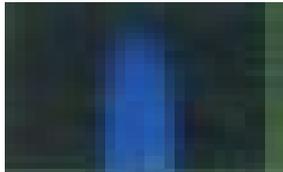
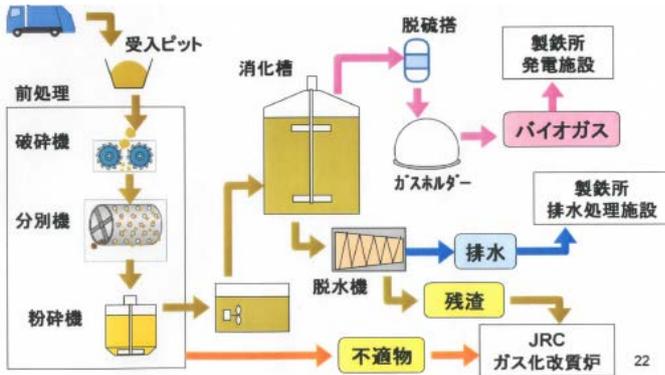
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	貝殻残渣	1,275	796	トン
受入可能量	貝殻残渣	-	2,000	トン
販売実績量の推移	製鐵用石灰の代用品	931	744	トン
	農業用肥料の原料	200	36	トン
	その他	144	16	トン
主な調達先	組合加入の水産加工業者			
主な供給先	新日鐵住金株式会社、塚原農産株式会社			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	平成 23 年度 自動給水装置 平成 21 年度 ホイルローダー 平成 21 年度 台貫 (トラックスケール)			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 23 年度 自動給水装置 (県補助金 228,000 円 市補助金 111,000 円) 平成 21 年度 ホイルローダー (県補助金 2,463,000 円 市補助金 1,206,000 円) 平成 21 年度 台貫 (トラックスケール) (市補助金 1,00,000 円)			
その他実績	上記の利用形態以外にも、一部の貝殻残渣を農地の暗渠用に利用する目的で販売をおこなっていると同時に、東京湾の生態系改善等のプロジェクト等への供給もおこなっております。			

7.4 ジャパン・リサイクル株式会社

7.4.1 事業者情報

名 称	ジャパン・リサイクル株式会社			
本社住所	〒260-0835	千葉県千葉市中央区川崎町1番地		
資本金、出資金	1,200,000 千円			
従業員数	210 人			
設立年月日	平成 10 年			
URL	http://www.japan-recycle.co.jp			
事業概要	1. 廃棄物処理業、2. 容器包装リサイクル法プラスチック再商品化事業、3. 食品廃棄物のリサイクル事業(バイオガス化)、4. 廃棄物処理に伴う精製合成ガスの製造・販売、5. 廃棄物処理に伴うスラグ等副産物の販売、6. 廃棄物処理装置・設備の運転、保守管理			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	総務部		
	担当者名	草場孝志		
	連絡先	電話番号	043-262-4716	
		FAX	043-262-4786	
Eメールアドレス		kusaba@japan-recycle.co.jp		

7.4.2 技術情報

キーワード	メタン発酵			
技術名称	ピガダン方式バイオガスシステム			
技術の分類	メタン発酵(バイオガス化)			
目的・用途	廃棄物の処理、及びリサイクル			
特長	ガス化溶融炉との組み合わせ(カスケード処理)により、①残さを資源化、②埋立処分が不要			
設備、製品等の写真、イメージ	 <p>燃料ガス</p>			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	動物性残さ	受入条件、形状	受入禁止物; ①ガラス・陶器類、 ②金属類、 ③割り箸・竹串類、 ④粘着性塊状物、 ⑤薬物・薬品、 ⑥その他メタン発酵を阻害するもの
	産廃	汚泥	受入条件、形状	
	産廃	廃油	受入条件、形状	
	産廃	廃酸	受入条件、形状	
	一廃	その他(生ごみ、厨芥類)	受入条件、形状	
供給資源・製品	燃料ガス (メタンを主成分とするガス)		形状	供給先限定
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	①廃棄物の最終処分場への埋立処分が不要	

7.4.3 実績情報

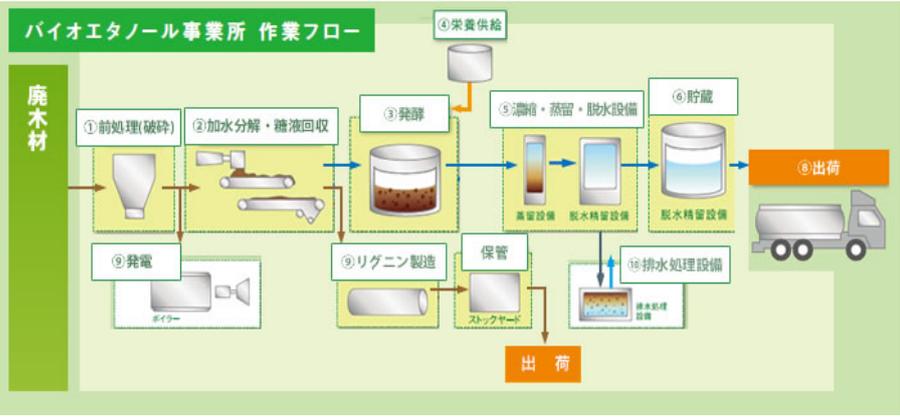
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	動植物性残さ(一廃の生ごみ・厨芥類を含む)	非公開	非公開	トン
	汚泥	非公開	非公開	トン
	廃油	非公開	非公開	トン
	廃酸	非公開	非公開	トン
	廃アルカリ	-	非公開	トン
受入可能量	メタン発酵に適する産廃・一廃	-	非公開	トン/日
販売実績量の推移	燃料ガス	非公開	非公開	千Nm ³
主な調達先	食品製造業者、自治体、等			
主な供給先	グループ企業			

14.2 株式会社 DINS 堺バイオエタノール事業所

14.2.1 事業者情報

名 称	株式会社 DINS 堺バイオエタノール事業所			
本社住所	〒592-8331	大阪府堺市西区築港新町四丁 2 番 3 号		
資本金、出資金	96,000 千円			
従業員数	25 人			
設立年月日	平成 16 年 3 月 25 日			
URL	http://www.dinsgr.co.jp/dins_sakai/			
事業概要	<p>建設廃木材を主体とする廃棄物を受け入れ、有用なバイオマス資源としてカーボンニュートラルなバイオエタノールを製造する資源循環型のリサイクルプラントです。また、エタノール発酵に不向きな廃木材についてはチップ化、焼却を行い、焼却過程で蒸気を発生させ、バイオエタノール製造にかかる熱源としての利用及び蒸気タービン発電機で発電に利用しています。発電された電力については自家供給を行い、余剰電力については再生可能エネルギーとして固定価格で売電しています。また、エタノール製造工程で発生する残渣については調質し、燃料用リグニンとして売却しています。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	株式会社 DINS 堺 バイオエタノール事業所		
	担当者名	徳原 一浩		
	連絡先	電話番号	072-243-3071	
		FAX	072-243-3072	
E メールアドレス		tokuhara8141@dinsgr.co.jp		

14.2.2 技術情報(1)

キーワード	バイオエタノール、発酵、E3、KO11			
技術名称	加水分解、アルコール発酵			
技術の分類	その他(エタノール発酵)			
目的・用途	温室効果ガス削減・レギュラーガソリン添加用バイオエタノール			
特長	カーボンニュートラルなバイオエタノール使用による温室効果ガス削減			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	廃木材	受入条件、形状	見積書による
	産廃	廃酸	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	廃アルカリ	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	廃油	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
	産廃	植物性残さ	受入条件、形状	エタノール化できるものに限る
供給資源・製品	バイオエタノール		形状	タンクローリー積込
	燃料用リグニン		形状	固形粉体

アピールポイント	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	化石燃料代替バイオエタノールによる二酸化炭素排出量の削減及び再生可能なエネルギー導入による循環型社会の形成 ガソリンに混入時バイオマス証明による揮発油税の減免
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	地球温暖化対策ビジネスモデルインキュベーター事業(環境省) 再生可能エネルギー発電設備の認定(経済産業省) 熱回収施設設置者認定(堺市長) 大阪ベイエリア・堺次世代エネルギーパーク登録 堺臨海エコファクトリーズ協議会としても見学者来場多数あり

14.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	木くず	30,057	24,948	t
	植物性残渣	-	11	t
	廃酸	-	121	t
	廃アルカリ	-	37	t
	廃油	-	0	t
受入可能量	木くず	-	158	t/日
	植物性残渣	-	5	t/日
	廃酸	-	434	m ³ /日
	廃アルカリ	-		
	廃油	-		
販売実績量の推移	バイオエタノール	非公開	-	t
	燃料量リグニン	非公開	非公開	t
主な調達先	産業廃棄物処理業			
主な供給先	アルコール製造・販売・使用許可事業者 発電所			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	平成 20 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 21 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 22 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 23 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業 平成 24 年度エコ燃料実用化地域システム実証事業			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	リグニン調質設備 4t散水車 ロータリーエンジン発電設備 投入用バックホー			
その他実績	産業廃棄物処分業許可・一般廃棄物処分業許可 アルコール製造事業・使用許可 計量証明事業登録 再生可能エネルギー発電設備認定 熱回収施設設置者認定 エコアクション 21 認定			

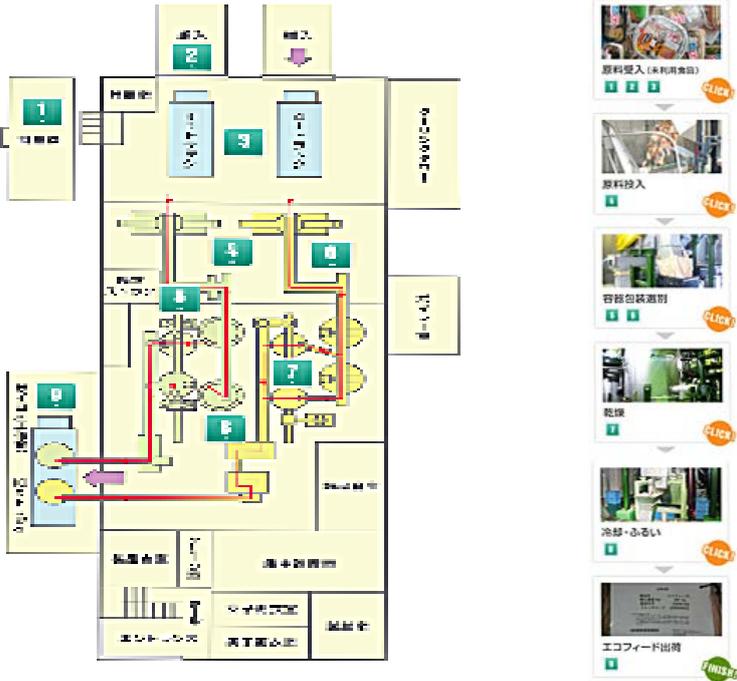
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ロスパン	707	1,600	t
	食品残さ	61	1,966	t
受入可能量	ロスパン	-	20	t
	食品残さ	-	20	t
主な調達先	食品工場 デリカ工場 飲料工場 麺・パン・お菓子・アイスクリーム製造／加工工場			
主な供給先	養豚農家 飼料会社			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	エコフィード循環システム 食品バイオマス飼料化システム エコフィード P・S 開発			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	平成 20 年 7 億 31 百万円			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 19 年度 農林水産省農業・食品産業競争力強化支援事業 平成 20 年 新事業活動促進支援補助金(新連携支援事業) 平成 21 年度 ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発等 支援事業)			

15.1 エコフィード循環事業協同組合

15.1.1 事業者情報

名 称	エコフィード循環事業協同組合			
本社住所	〒675-2113	兵庫県加西市網引町 2001-54		
資本金、出資金	600 万円			
従業員数	10 人			
設立年月日	平成 19 年			
URL	http://www.eco-feed.org/index.html			
事業概要	食品残さ(店頭販売期限切れ)からエコフィード(リサイクル飼料)の製造			
事業所写真	 			
問合せ先窓口	部署名	事務局		
	担当者名	村田		
	連絡先	電話番号	0790-49-9880	
		FAX	0790-49-9888	
Eメールアドレス		m.murata@eco-feed.org		

15.1.2 技術情報

キーワード	リサイクル 飼料 エコフィード 食品残さ 余剰食品 トレサビリティ 未利用			
技術名称	・エコフィード製造技術(乾燥技術) ・リサイクル飼料の安全管理技術			
技術の分類	・未利用食品の飼料化 ・エコフィードループシステム			
目的・用途	・リサイクル飼料の安全確保 ・霜降り豚肉作出用飼料			
特長	・おいしく安全で健康にもよい豚肉肥育飼料			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	廃酸・廃アルカリ 飲料等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	産廃	汚泥 ヨーグルト、レトル品等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	産廃	動植物性残さ 未利用食品等	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの
	一廃	余剰食品 調理残さ	受入条件、形状	店頭販売期限切れ食品 未利用食品 腐っていないもの

供給資源・製品	エコフィード P		形状	粉状
	エコフィード S		形状	粉状
	エコフィード PM		形状	粉状
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	市町村などでの焼却場や灰の埋立などの環境負荷コスト低減 例 神戸市での処理コスト 13 円/kg から算出すると 3664 万円の削減につながります。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	飼料マイルージの低減 二酸化炭素排出を 1 割程度に抑えることができる アメリカ産トウモロコシ、大豆を原料とする配合飼料 1t の CO2 排出量 148,571kg 地産地消未利用食品を原料とする配合飼料 1t の CO2 排出量は 17,539kg	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成 20 年度 食品リサイクル推進環境大臣賞受賞 1200 人の施設見学受入を実施(平成 25 年 10 月まで)	

15.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	ロスパン	707	1,600	t
	食品残さ	61	1,966	t
受入可能量	ロスパン	-	20	t
	食品残さ	-	20	t
主な調達先	食品工場 デリカ工場 飲料工場 麺・パン・お菓子・アイスクリーム製造/加工工場			
主な供給先	養豚農家 飼料会社			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	エコフィード循環システム 食品バイオマス飼料化システム エコフィード P・S 開発			
設備投資の実績 (過去 5 年間)	平成 20 年 7 億 31 百万円			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 19 年度 農林水産省農業・食品産業競争力強化支援事業 平成 20 年 新事業活動促進支援補助金(新連携支援事業) 平成 21 年度 ものづくり中小企業製品開発等支援補助金(試作開発等支援事業)			

17.11 株式会社中國開發

17.11.1 事業者情報

名 称	株式会社中國開發			
本社住所	〒 729-3401	広島県府中市上下町小塚 659 番地		
資本金、出資金	6,650 千円			
従業員数	35 人			
設立年月日	平成 1982 年 8 月 1 日			
URL	http://www.chugoku-kaihatsu.co.jp/			
事業概要	建設、林業、運送業、産業廃棄物処理、食品リサイクル、養豚、堆肥事業			
事業所写真	 <p style="text-align: center;">本社</p>			
問合せ先窓口	部署名	株式会社 中國開發		
	担当者名	池田 博信		
	連絡先	電話番号	0847-62-4584	
		FAX	0847-62-2592	
E メールアドレス		info@chugoku-kaihatsu.co.jp		

17.11.2 技術情報(1)

キーワード	食品リサイクル			
技術名称	GENリキッドフィードシステム			
技術の分類	収集・運搬・破碎・選別			
目的・用途	家畜の餌			
特長	食品残渣・余剰農産物を選別・粉碎・殺菌後タンクの中で黒麹で発酵させ液状の家畜の飼料を製造			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	動植物性残渣	受入条件、形状	有害物質等含まない物
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	処分費が安く、循環型リサイクルで会社のイメージアップになる。	
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	飼料購入費の低減、購入者に合せた配合ができる。	
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	166名の施設見学受入を実施 24年実績	

22.18 楽しい株式会社

22.18.1 事業者情報

名 称	楽しい株式会社			
本社住所	〒808-0002	北九州市若松区向洋町 10-1 北九州エコタウン実証研究エリア内		
資本金、出資金	35,000 千円			
従業員数	8 人			
設立年月日	平成 13 年			
URL	http://www.fun-c.jp			
事業概要	<p>●北九州エコタウン発 廃棄物とバイオマスの新資源化システムの提案 ★食品廃棄物の新資源化システム ★可燃ごみ・バイオマス等の熱分解炭化技術 ★廃プラスチック・廃食用油・バイオマス等の接触分解油化技術</p> <p>●本格循環いも焼酎「明月五良」の企画・販売</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	メリーズシステム事業部		
	担当者名	松尾隆貴		
	連絡先	電話番号	093-752-5300	
		FAX	093-752-5303	
E メールアドレス		ceres@fun-c.jp		

22.18.2 技術情報(1)

キーワード	生ごみ、バイオマス、廃棄物処理、堆肥、装置、システム		
技術名称	生ごみリサイクルシステム「メリーズシステム」		
技術の分類	堆肥、液体肥料化		
目的・用途	自治体および事業系食品廃棄物のリサイクル		
特長	1日あたり数10kgから5トン未満の小規模分散型の、生ごみリサイクルシステムを全国400拠点に展開中。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	有償	動物性残さ	メリーズシステムに参加事業所で当社で回収のみ
供給資源・製品	食品残渣堆肥		形状 ばら、10kg等のポリ袋詰
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	通常の一般廃棄物収集運搬委託契約に比べて、処理料金、CO2排出量、衛生面等、改善される可能性が十分にあります。 生ごみ処理装置を購入する方法のほか、生ごみ処理装置と包括メンテナンスを含めたレンタルサービスも、選択して頂けます。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	化学肥料を使わず、安全・安心な農作物の生産が可能。 一般的な生ごみ堆肥と比べ、塩分・油脂分が1/5以下の安全・安心な堆肥です。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	平成16年 北九州市環境賞奨励賞受賞 平成20年 セレス竹割り箸が洞爺湖サミットに40万膳採用 平成20年 ハイ・サービス日本300選に選定 平成25年 第3回北九州オンリーワン企業(特別賞)に認定

22.18.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	事業系食品廃棄物	-	-	
受入可能量	事業系食品廃棄物	-	-	
販売実績量の推移	食品残渣堆肥	-	-	
主な調達先	自治体、病院、レストラン、老人ホーム、カット野菜工場ほか			
主な供給先	農家			
技術開発の実績 (過去 5 年間)	平成 23 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業にて、若松西海岸の事業所 9 か所の、廃プラスチック、生ごみ、割りばし、廃食用油の回収と、堆肥化、油化、出来た堆肥と油は、ビニールハウスの堆肥と暖房用燃料に使用。			
海外展開の実績 (過去 5 年間)	平成 23, 24, 25 年度に、中国無錫(むしゃく)市へ、生ごみの堆肥化装置と、プラスチックの油化装置を、外務省無償資金協力にて、装置と変換技術を提供。			
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	平成 17, 18, 19 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業 平成 23 年度 北九州市環境未来技術開発助成事業			
その他実績	平成 16 年 北九州市環境賞奨励賞受賞 平成 20 年 セレス竹割り箸が洞爺湖サミットに 40 万膳採用 平成 19, 20 年 経済産業省グリーンサービサイジング事業の受託 平成 20 年 ハイ・サービス日本 300 選に選定 平成 20 年 環境省主催 ふくおか減 CO2 大作戦 2008(最優秀賞) 同全国大会(特別賞、環境大臣表彰)受賞 平成 25 年 第 3 回北九州オンリーワン企業(特別賞)に認定			

22.20 アミタ株式会社

22.20.1 事業者情報

名 称	アミタ株式会社			
本社住所	〒102-0073	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号 メヂカルフレンドビル 2 階		
資本金、出資金	473,239 千円			
従業員数	158 名(アミタグループ連結)(2014 年 1 月 1 日現在)			
設立年月日	1977 年 4 月 1 日			
URL	http://www.amita-net.co.jp/			
事業概要	総合環境ソリューションの提供 ・廃棄物再資源化サービス ・環境管理業務支援サービス ・環境・CSR マーケティング支援サービス 等			
事業所写真	http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/kitakyushu.html 			
問合せ先窓口	部署名	コミュニケーション戦略グループ 共感資本チーム		
	担当者名	広報担当(蝦名 裕一郎)		
	連絡先	電話番号	075-277-0795	
		FAX	075-255-4527	
E メールアドレス		press@amita-net.co.jp		

22.20.2 技術情報

キーワード	持続可能社会の実現、100%再資源化、廃棄物処理			
技術名称	産業廃棄物を原料とした循環資源の製造			
技術の分類	その他(調査)			
目的・用途	独自の技術で混錬、調合(調整・混合)を行い、セメント原料化や金属原料化			
特長	単体では再資源化困難な発生品(廃棄物)を調合し、再資源化可能な循環資源としてユーザーに提供しております。 http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/			
設備、製品等の写真、イメージ	セメント原料系： http://www.amita-net.co.jp/images/prod2.jpg セメント燃料系： http://www.amita-net.co.jp/images/prod3.jpg 特殊鋼原料(Ni、Cr)： http://www.amita-net.co.jp/images/prod4.jpg 金属原料(Cu)： http://www.amita-net.co.jp/images/prod5.jpg 説明ページ： http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/products-listing.html			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	燃え殻、污泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、鉱さい、ダスト類、全 11 種類	受入条件、形状	成分、性状により判定。
			受入条件、形状	
供給資源・製品	セメント原料 燃料系	形状	泥状	
	セメント原料 原料系	形状	泥状	
	金属原料 Ni-Cr 系	形状	泥状	
	金属原料 Cu 系	形状	泥状	

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	<p>例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・100%再資源化、副次的に発生する廃棄物が存在しない。 ・単体では再資源化が難しい廃棄物も調合によって再資源化できる可能性が高い ・100%再資源化のため将来的な廃棄物の残存リスクがない。 <p>埋め立てリスク: http://www.amita-oshiete.jp/qa/entry/001818.php</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100%再資源化のため、再資源化率の計算がしやすい ・港湾を使った海運中心のため、輸送コストと重量ベースで輸送時二酸化炭素が陸送と比べて低い ・アマタ株式会社はジャスダック上場企業であるアマタホールディングス株式会社の100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。 <p>http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・安全・地域貢献: http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf <p>※～全国5つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001認証取得を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路、京丹後、茨城の製造所は優良認定許可取得済みです。(川崎、北九州は5年経過後申請予定) ・企業環境担当者様向けの無料・有料のソフトサービスも充実しています。http://www.amita-net.co.jp/management/ ・自社で受入不可能な廃棄物も再資源化ネットワークを駆使して受け入れ先を見つけます。 http://www.amita-net.co.jp/recycle/network.html
	製品購入者側のメリット	<p>例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一定品質、物量の安定した副原料の活用。 ・化石燃料の使用量削減 ・コスト削減、収益の改善 ・アマタ株式会社はジャスダック上場企業であるアマタホールディングス株式会社の100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。 <p>http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・安全・地域貢献: http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf <p>※～全国5つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001認証取得を実現</p>
	その他	<p>例) 受賞歴、施設見学受入者数、等</p>	<p>見学実績:2013年:91団体 152名 マレーシア環境局等海外の受入実績多数 http://www.amita-hd.co.jp/news/post_1061.html</p>

22.20.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位	
処理実績量の推移	汚泥	未稼働	非公開	t	
	燃え殻	未稼働	非公開	t	
	廃油	未稼働	非公開	t	
	廃プラスチック類	未稼働	非公開	t	
	ばいじん	未稼働	非公開	t	
	木くず	未稼働	非公開	t	
	動植物性残さ	未稼働	非公開	t	
	ガラスくず	未稼働	非公開	t	
	鋳さい	未稼働	非公開	t	
受入可能量	400 m ³ /日	③産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の種類、 ④処理能力 燃え殻 79.8t/1日(8時間) 汚泥 312m ³ /日(8時間) 廃油 70m ³ /日(8時間) 廃プラスチック類 77t/日(8時間) 紙くず 5.4t/日(8時間) 木くず 9.9t/日(8時間) 動植物性残渣 18t/日(8時間) 金属くず 79.1t/日(8時間) ガラスくず 70t/日(8時間) 鋳さい 135t/日(8時間) ダスト類 88.2t/日(8時間)			
		■開示情報 http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u5.php?Param1=8&Param2=60035&Param0=&menu=2			
出荷実績量の推移	セメント原料系	未稼働	283	t	
	セメント燃料系	未稼働	15,351	t	
	特殊鋼原料	未稼働	220	t	
	http://www.amit-a-net.co.jp/pdf/performance.pdf	未稼働			

主な調達先	化学、電気、鉄鋼、製紙、精密機器等、各業種
主な供給先	セメント・非鉄・鉄鋼メーカー
技術開発の実績 (過去 5 年間)	非公開
設備投資の実績 (過去 5 年間)	非公開
海外展開の実績 (過去 5 年間)	<p>海外からの研修、見学を積極的に受入。事業展開も検討中。 1980 年代から海外事業を展開しており、産物(有価物)、廃棄物を原料として捉えた輸出入の取り引きのほか、一部の国ではセメント代替燃料に関する特許をライセンスしました。</p> <p>▼取引実績国 台湾／韓国／中国／ロシア／フィリピン／シンガポール／インドネシア／マレーシア／タイ／アメリカ等</p> <p>▼海外オフィスと現地法人 韓国には 1991 年にオフィスを開設し、2011 年には台湾に現地法人を設立しました。台湾では、太陽電池の製造工程で排出される廃棄物の再資源化施設を、台南市にて計画しています。 http://www.amita-net.co.jp/recycle/global.html</p> <p>2014 年は台湾における再資源化プラントの設置・稼働準備およびマレーシアでの再資源化事業検討など、急成長する海外市場の開拓を推進します。 http://www.amita-hd.co.jp/news/2014_1.html</p>
補助金等支援策の活用実績 (過去 5 年間)	非公開
その他実績	<p>■受賞歴 第 9 回エコプロダクツ大賞優秀賞(2012 年) グッドデザイン賞(2001 年) 資源循環技術・システム表彰 CJC 会長賞(1996 年)他。 http://www.amita-hd.co.jp/company/award.html</p> <p>■再資源化実績・取扱品目： http://www.amita-net.co.jp/recycle/performance.html</p>